

2017年度第3回 長期計画企画拡大会議 議事記録

日 時：2017年（平成29年）10月25日（水）16:00～16:45

場 所：2-1701会議室（2号館17階）

出席者：104名

欠席者：52名

当日資料：資料1 2017年度長期計画企画拡大会議 各検討専門委員会委員一覧（2017年10月1日現在）

資料2 SEMEP設置準備状況について（中間報告）

資料3 意見書

議 事

審議に先立ち、事務局より配付資料の確認、説明を行った。

(1) 中等教育検討専門委員会の発足について

理事長より、資料1に基づき、中等教育検討専門委員会の発足および委員について紹介があった。

(2) SEMEP設置準備状況について（中間報告）

学務担当副学長より、資料2（投影）に基づき、現在検討を進めているSEMEP設置構想について説明があった。

主な質疑は以下の通り。

- ・ 他大学の英語コースとの差別化はどのように考えているか。
- ・ 既存学科にSEMEPを組み込むことで、これまで日本語で行っていたオリエンテーションキャンプなどの学科のイベントをバイリンガルで行うなどの対応が必要になるのか。
- ・ 各学科にSEMEPを置くのではなく、一つの学科とした方が運営上よいのではないか。
- ・ 入学する学生の国籍はどのように想定しているか。
- ・ 学科内でSEMEPの学生を学生番号等で識別するのか、またSEMEP学生の日本語による学科科目の履修、ゼミ担当教員の限定については検討しているのか。
- ・ 各学科の科目群を日本語に加え英語でも開講するには、現在、日本語による科目の授業担当教員がSEMEP科目も受け持つことになるのか、それともSEMEP担当教員を採用するのか。
- ・ 日本語による科目に加え、SEMEP科目を担当することは教員の負担増が予想されるが、それはどう考えるか。
- ・ 英語で授業を行うということは単に使用言語を変えるだけでなく、学生の特性が異なることにより、教え方のスタイルも変わる。それが上智全体に広がっていけばよいと考えるが、そのことについてはどう考えるか。
- ・ SEMEP設置に伴う教員の定員増を考えているのか。
- ・ SEMEP科目を増設することにより、従来の日本語による科目が縮小し、カリキュラム変更をする必要が出てくるのではないか。
- ・ SEMEP科目の増設後、教室は足りるのか。
- ・ 既存のカリキュラムと全く同じ科目をSEMEP用に開講することは難しいと思うのだが、卒業要件にフレキシビリティを持たせるのか。
- ・ 教室不足は全学共通科目の必修科目が最大の要因であると考え。全学共通科目を是正していく必要があるのではないか。

最後にSEMEP設置について、意見や提案があれば事務局まで提出するよう、要請があった。

(3) その他

理事長より、意見書および提出期限について説明があった。

また、今年度の開催日程について案内があり、詳細は追って通知することを確認した。

- ・ 2018年1月24日(水) 16時00分- 2-1701会議室
- ・ 2018年3月28日(水) 15時30分- 2-1701会議室（通常より30分早い開始となる）

以上